会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和４年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回実施委員会 |
| 開催日時 | 令和4年6月24日（金）　15時00分～17時00分 |
| 場所 | ＡＰ品川アネックス |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾委　　　員：成底　敏、岡村　慎一、柳田　祐大、小田　政江八木　信幸、猪俣　昇（OL）　　　　　　　　計7名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計8名 |
| 議題等 | １．事業概要説明（成底）・事業最終年度に向けて、コンテンツ開発、セミナー実施、e-learning環境の整備、アプリ開発ということで本年度は実施ます。（成底）(1)知識系分野学習用動画コンテンツの追加・コンテンツ開発の目的は専門スタッフとして身につけておくべき知識の動画コンテンツを開発しネットを通じていつでもどこでも体制を整備するということで一応今回企画書の中で入ってるのが三つあります。まず一つ目が情報公開の必要性これは、生徒募集でのアドミッションポリシーとの関係性に限らず卒業生の調査を含めたIR的な部分にも着眼しコンテンツを作っていきたい。講師の依頼先は日本電子専門学校の船山校長を想定している。（成底）２つ目は職業教育のマネジメントの重要性ということで配置、評価、採用等を含めた内容としていきたい。講師依頼は三菱総研の藪本さんがこういった知見を持っていらっしゃるということもあって、お願いを想定している。３つ目は、私立学校法改正についてのお話を一つコンテンツとして作った方がいいのではないかと考える。講師依頼先としては文部科学省私学行政課長の方にお願いしてみることを想定している。・私立学校法の改正につては、開催された条文や法の運用部分ではなく、何故法改正が必要性であったのか。何に期待して法改正をするのかといった部分を学ぶ必要があるのではないか（飯塚）・このコンテンツの担当は、小田さんと松田さんにお願いできればと考えています。（成底）・昨年作ったものに加えて、本年度作るコンテンツを加えネットで学習するというイメージでしょうか。（高岡）・この後検討いただくe-learningのシステムに載せる予定です。（成底）・3番目のコンテンツは、その内容や運用が変わっていく可能性は十分あると思いますがいかがでしょう。（岡村）・私立学校法の解釈は、運用によって若干変更される可能性があると考えます。従って今回は、改正の背景やこの法律への期待感等についてお話しいただくこととしています。また、改正点や具体的な運用については、2年ぐらい様子をみて新たにコンテンツを作成したいと考えています。（成底）・職業教育のマネジメントは、大学の経営と専修学校の経営には違いがあり、専修学校には専修学校としてのマネジメントがあるんだとということを、藪本さんにしっかりとピックアップしていただいてお話いただければ良いと思う。（岡村）・一番で作るコンテンツを情報公開セミナーで流すのか、もしくは情報公開セミナーでは、リアルでお話していただくこととなりますか。この話の流れと、去年このお話していただいた四つの法人のお話とこの内容は別物のように見えます。（八木）・この３つのコンテンツについては、あくまでもコンテンツの作成なので、企画書上もこの2番の情報公開と3番の職業教育の教学マネジメントのセミナーはとは、今後検討していきたい。（成底）・このコンテンツ開発の担当は、小田さんと松田さんでお願いします。(2)情報公開セミナーの開催・この情報公開セミナーの開催は、泉田先生と山根先生に担当をお願いします。本日、泉田先生はご欠席ということですので、私から当人に連絡します。開催日程は令和4年11月を目途に検討していただき、東京での対面とオンラインでの開催を検討していただく。（成底）・この研修の開催については、先ほどもご意見がありましたが、情報公開の必要性のビデオコンセプトとの関連性等を視野に入れて計画を検討していただきたい。（成底）・昨年度、このセミナーは対面ベースで作り込みましたが、コロナの関係で急遽オンラインでの実施になった関係で少し消化不用な部分があるように見受けられる。グループディスカッション等対面でもう一度実施することも一つの方策と考える。（小田）・情報公開は、アドミッションポリシーを入学前の生徒に伝えるといった側面もあるが、卒業生の調査等により学校の社会貢献性を把握ししっかりと伝えていく側面もあると思う。（高岡）・この件は、次回委員会までに計画案を作ることにしたい。（成底）01:12:03 どういうシチュエーションだったのかうちの娘よくいやあの、教科書を読んだらわかるからって結局教えてくれなかった教科書読んでもわからないから聞いたんですけどって言っても教えてくれないから、うちの娘がそれで何やったかって言ったら無料のアプリで、その数件の授業してる進研ゼミとかああいうところの、(3)職業教育マネジメントセミナーの開催・この件については、昨年度私が担当したので、継続して私が担当する。令和4年11月頃に対面とオンラインで開催を想定する。内容は、小山学園の白井校長にさらに突っ込んだ内容をお願いすることや他の事例紹介、グループワーク等の実施も検討していきたい。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（成底）・本件について、事例紹介で良い学校があればSlackで共有をお願いしたい。（成底）(4)e-learningマネジメントシステムの構築・この件は、猪俣さんに担当をお願いする。（成底）・スケジュールは、7～10を目途にシステム開発。10～1月でテスト運用。2～3月に運用開始を考えている。（成底）・学習コンテンツは、以前文科省事業にて開発したIDのコンテンツに加えて、令和3年度に開発した10本のSDコンテンツを対象とする。（成底）・このシステム開発のキーは、充実したコンテンツを提供することはもちろんであるが、全専研としてしっかりとした継続的な運用体制を整備することと当会のみならず他の協会などからの協力を得て普及体制を整備することと考える。（成底）・今後は、私と事務局の飯塚さんとで新潟を訪問し内容を検討した上で皆様から意見を伺うこととしたい。（成底）(5)申請業務効率化アプリ開発・この件は、猪俣さん、八木さん、柳田さんに担当をお願いする。・開発スケジュールは、e-learning同様で7～10にシステム開発。10～1月でテスト運用。2～3月に運用開始を考えている。（成底）・令和3年度に行った自己点検評価関連調査結果等を基にして開発仕様を作成した行きたい。八木さんからは現在バージョンの情報を頂戴できればと考えています。（成底）・今後は、飯塚さんとで猪俣さんを訪問し内容を検討した上で皆様から意見を伺うこととしたい。（成底）2.成果報告会の開催・運営・成果報告会は、令和4年2月に60名を対象とした対面形式のセミナーを実施することを検討する。（成底）3.その他・本年度もHP及びYouTubeチャンネルから情報を公開する。（成底）〇会計に関する確認・往復の飛行機や新幹線等の手配は、他の仕事と誤解を受けることのないような時間での移動をお願いしたい。（飯塚）・宿泊を伴う旅程での朝食は、委託対象外経費となるので朝食なしのプランを選択していただきたい。（飯塚）・宿泊を伴う旅程を購入された場合には、念のため旅程表を事務翌宛にお送りいただきたい。（飯塚）・グリーン車やファーストクラス等の上級シート等での移動は、基本的にその割り増し代金は自己負担でお願いします。（飯塚）・不明な点は、Slackにて事務局にお問い合わせください。（飯塚）〇日程・次回の実施委員会は、運営委員会開催後に事業の進捗をみながら調整する。・第1回運営委員会8月19日15：00～　東京にて対面orハイブリット |
| 配布資料 | ・令和4年度事業計画書・第1回実施委員会資料・文部科学省委託事業に関する旅費支払いについての注意事項 |

以上